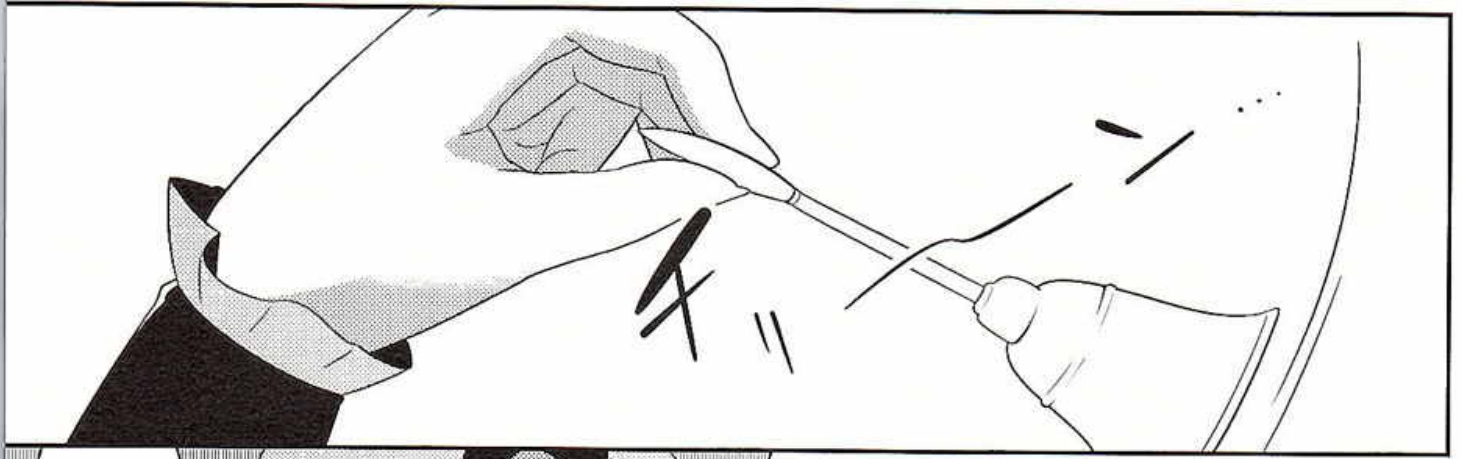




服従×露出×下京上

皆が見てないところでお嬢様を性的にいじめる本

**FOR  
ADULT  
ONLY**



こんな物を  
私に出すなんて  
何を考えているの？

最低の味ね！



お呼びでしょうか？  
お嬢様

この紅茶――



……まったく、  
咲夜の負担を  
減らそうと思って  
雇ったのにてんで  
役に立たないわね！

申し訳……  
ございません……



申し訳ございません……

本当に申し訳ないと  
思っているのなら――

ひびく  
跪きなさい！

フフ：  
椅子としては  
まんざら悪くない  
じゃないの……！

よかったわねえ？  
愚図なあなたにも  
使い道が見つかって

ねえ、  
またお嬢様に  
虐められ  
てるわよ  
あの人間の  
執事さん

最近ずっと  
あんな  
感じよね

何かご機嫌を  
損ねるような事でも  
したのかしら？

お嬢様、  
あの執事さんの事が  
好きだったりして――

えー!?  
まさかー

ギャツ  
ギャツ



お嬢様の  
清拭担当を…?

—私が、



一応これは  
お嬢様からの指名  
ではあるけれど  
間違っても変な気は  
起こさない事ね

あとお嬢様は  
流水が苦手だから  
十分留意するように



ええ、  
私が異変解決へ  
赴くいる間は  
あなたがお嬢様  
のお身体を清めるの



それにしても  
不器用なあなたに  
きちんとこなせる  
のかしら?



いい?  
割れ物を扱うような  
気持ちで優しく—



ちゃんと予習は  
済ませてきた?

私の肌に触れられる機会  
なんて滅多にないんだから  
光栄に思いなさい



や…やめて…  
おねがいだから…

ほんとにつらいの…

あやまる…から…  
やめてよお…

そうですか…  
では—

本当に申し訳なく  
思っているのなら、  
服を脱いで  
跪いてください

さあ、きちんと  
謝ってください

…い、今まで意地悪して  
すみませんでした…っ

しっかり頭を  
地に着けて  
下さいよ！

ぐっ…！

そう、  
お尻をもう少し  
上げて…

いやー  
さすがお嬢様  
綺麗なアナル  
ですねぇ

ひあっ!!  
ちよっと、  
何してー

ついでですから  
中もしっかりと  
キレイにして  
差し上げますよ

ひぎゃああうっ!!

ホッ



あっ...ゼクンッ

みっ、  
水がお腹の中に  
流れ込んで...

あ...!!

ドッ

ほらほら折角洗って  
あげてるんですから  
暴れないで下さい

う...!!



ひぎゃあ...ゴポ

は...破裂  
しちゃうう...

ゴポ



ひぎゃあ!!

ゴポ



ひっ...ぐ...!!

ゴポ...

もう無理い...っ!  
し...しんじやうっ...

抜いてよお...っ!!

もう限界ですか?  
仕方ないですねえ



辛そうですから  
お手伝いして  
差し上げましょう



では今度は  
踏ん張って水を  
出して下さい



まだ洗っていない箇所が  
ありますからね…!



さてお腹の中も  
綺麗になった  
ことですし次は…

ま…まだ何か  
するの…?

当然です!



や、やだっ!

そんなところ  
舐めないでよあつ

そこは洗って  
もらわなくても  
いいからっ!!

うう…  
嗅がないでよ  
変態…っ

いけませんよお嬢様  
いくら吸血鬼は  
代謝が低いといっても  
雌臭い香りが奥に充満  
してるじゃないですか





えっ!?  
ちよ、ちよっと  
待ってそれは  
駄目だってば!

えっと...  
でも...

ではこれを使って  
洗うとしましょう

それではホースを  
突っ込まれる方を  
ご所望ですか?



うーん、  
奥の方までは  
届きませんね...

もっ...♡



う、お...!  
さすが身体  
小さいだけあって  
滅茶苦茶狭い  
ですね...!

ぎぢぢぢ...

お嬢様のおまんこ  
すっごい絡み付いてくるから  
抜こうとすると一緒に  
引っ張られちゃってますよ

い...ぎ...



では  
異論なしと

あががが...



っと、  
ここで一気に  
奥まで捻じ込む!!

おっ...

どうですかお嬢様!?

散々見下してきた相手に  
好き放題犯されるのは!!

ちが  
違っ—

私、そんな  
つもりじゃ…っ

ひ…酷い  
こんなの  
あんまりよ…

なんだかんだお嬢様も  
気持ち良さそうな声  
上げてるじゃないですか

っあ!…  
お嬢様の悔しそうな顔  
眺めながら隆奥突くの  
最高ですよ…!!

もっと優しく  
してえ…

五百年生きといて  
ウブな少女でも  
ないでしょうに…

ではもっと気持ちよくなって  
頂けるよう努めますから

おっぱい  
そんな乱暴にいつ

ぐっ…  
更にキツく…

このまま中で  
出しちゃいますよ  
お嬢様!

えっ、やだ!  
それだけは—

受け止めて下さい  
お嬢様!!



あああああ



—ふう…  
これに懲りたら  
今後は私の言う事を  
聞いてくださいね?

あ…



熱いのっほっ  
入ってんるっ…っ!!

—い、言われた通り下着は穿いてこなかったわよ！

よく出来ました、お嬢様

それではご褒美を差し上げましょう



ビクッ

んっ！



ぞくぞくぞく

ふっう…



きちんと奥まで挿れませんか



ふいっ

そ…そんなことあるわけ…ないでしょう…

もしかして期待されているんですか？



よし、このくらいで…

おや？ まだ作動させてないのに随分濡れていますね

いくら言う事を聞かって約束したからってこんなの…



もしかして私が丹精込めて育てた花をご覧に？

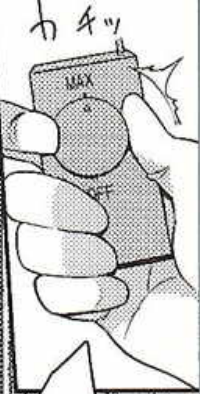
あれ？ 庭園へいらっしゃるなんて珍しいですねお嬢様

ええ…まあ…



じよ、冗談じゃないわ無理に決まってるでしょう!?

ではこのままお散歩へ行きましょうか



ッ!?



どうかなさいましたか?  
いいや別に何でもないのでよ!



こんな場面で作動させるなんてなに考えてるのよっ!?!  
愛液したたが滴り落ちてスカートの裾から見えちゃうじゃないっ!?!



あ、その花気に入られましたか?

ひあっ!?



うう...なんで私がこんなこと...  
美鈴早くどっか行きなさいよ!



さあ、  
もっと激しく  
しますよ

はっ  
そっそんな  
無理

でしたらもう少し  
声を抑えられたら  
いかがですか？



やん...♡

今日はっ...んっ!!  
図書館でなんて...っ  
パチエ達に  
バシチャウ...!!

あ...♡



小悪魔、  
ホームクルスに関する資料  
持ってきてもらえるかしら？

はい、  
パチエリー様！

え？



それにしてもまさか友人が  
こんな近くで淫らな行為をして  
いるとは思わなんでしょうね

っ好きでして  
るんじやないわよ!



まさか...  
この本棚の向こうに



お願い…!  
気付かないで—

—あ



レミイ、  
図書館に来てたのね

ツ  
ツ



すぐ近くに  
パチエがいる!!

カ  
ラ  
ッ

カ  
ラ  
ッ



平気…よ…!  
全然、気にしないで…っ

そう?  
じゃあ後でまた  
お茶にしましょう

ええ…っ  
また…!!



ここへ来る  
なんて珍しいわね  
何か用事かしら?

え、ええ…  
少し調べ物をね

もしよければ  
手伝いましょうか?

だ…大丈夫!  
大したことじゃ  
ないから…!!

それにしてもレミイ、  
息も荒いし顔も紅いけど  
大丈夫?

ビ  
ク  
ッ

ほ  
ろ  
ッ

ク  
ッ

ビ  
ク  
ッ

廊下でって…  
すぐ見つかっちゃう  
じゃないの…!!

大丈夫です、  
ここは妖精メイド達も  
滅多に来ませんから

それよりもホラ  
もっと下品に服を  
捲り上げて下さいよ

……



さあ、  
早く啜えて  
下さい?



相変わらず  
ヘンなニオイ…  
ヘンな味…

あ…  
お嬢様の柔らかい  
唇いいですよお…

はも、…



あれ、咲夜さん?

!?

ちっちゃなお口で精一杯  
ほおぼって可愛らしい  
ですよお嬢様…!!

おっ…う  
亀頭包み込まれて…  
あ、裏側もすっごく  
気持ちいいです…!!

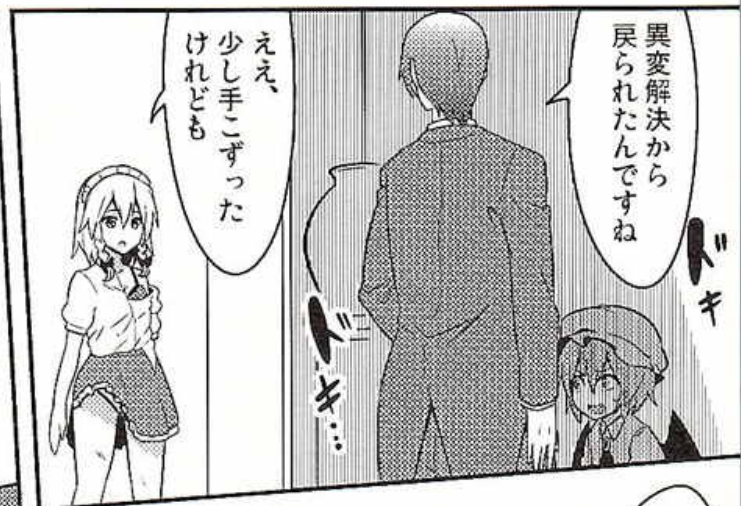
大分上手くなって  
きましたねお嬢様

いちいち  
言わなくても  
いいわよ…!!





ところで  
お嬢様を見かけ  
なかったかしら？



この位置だと咲夜から  
見えてない…？  
ならこのまま大人しく  
やり過して…



喉奥で  
乱暴にしごかれ  
ちゃってる…!!

そう…  
帰還の報告をしようと  
思ったのだけでも…



いえ、  
私は存じませんが

こんな事したら  
咲夜にバレちゃう  
じゃないの…!!

ちょっ…  
何やってるの!?



げほっ…

うえ…



奥まで捻じ込まれて…  
息…出来な…っ…

お…

もしお見かけしましたら  
お伝えしておきますよ



それにしても  
咲夜さん…  
随分酷く  
やられましたね

あまりジロジロ  
見ないでもらえる  
かしら？

ホロッ



あ、  
すみません…

はっ  
きーん

私を都合よく使っておいて  
咲夜で欲情だなんて…

ぐぬぬ…



痛ッ!?

どうかした？

ああ、いえ  
ハハハ…



この  
浮気ものッ!!

アッ

アッ



さあ、  
服を脱いで…



いいえ、  
お仕置きをします！

こ、今回は  
私悪くないもん！

何をなさるんですか!?  
もう少しでもげ落ちる  
とこだったんですよ!?



ええっ!?

この格好のまま  
館内を歩きましょう

下着も含め  
全てですよ

さすがに無理よ!  
何も隠すものが  
ないじゃない!!

これで  
気が済んだ…?

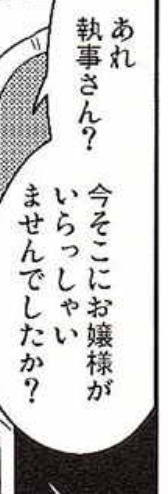
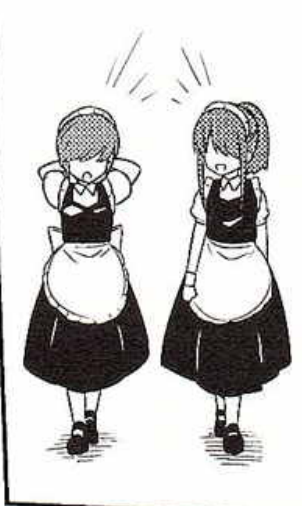


っ!  
ビクッ

おや?  
それとも水責めの方が  
お好みでしたか…?

いいえ、  
ここからが本番です

…今日は  
何をするの?



ほらもっと窓際  
ギリギリまで  
近付いて下さい

ちよっと、  
押さないでよ…っ！

あんまり抵抗すると  
物音で気付かれて  
しまいますよ？

外を見回りしてる  
メイドに見つかっちゃう  
じゃないの…！

もう…  
窓にくっついて  
るじゃない

これじゃ  
変態だわ…

…とかなんとか  
言いながらこっちは  
しっかりソノ気では  
ないですか？

ほら、指も  
すんなりと…

るう…

やっ…！  
駄目え…

お嬢様は  
露出癖のある変態  
だったのですねえ

ち、違っ…  
これは…！

…っ…







お姉さまー?

ギッ……



お姉さまー…

あれ?  
おかしいなあ  
声が聞こえた  
と思っただのに…

…ん?  
何かしら  
あの水滴?



おや妹様、  
このお仕置き部屋に  
何かご用でしょうか?

…ん?  
えーとお姉さまが  
いないかなって  
その子は?

館への侵入を謀った  
少女を捕えました

これから罰を  
与えるところですよ



ちよん



フフ…  
羽のみ蝙蝠こうもりに変え分離、

顔も完全に隠してるから  
フランでも私だとは  
気付かないでしょう…!

ふん、

続けていいよ？

私はここで  
見学してから

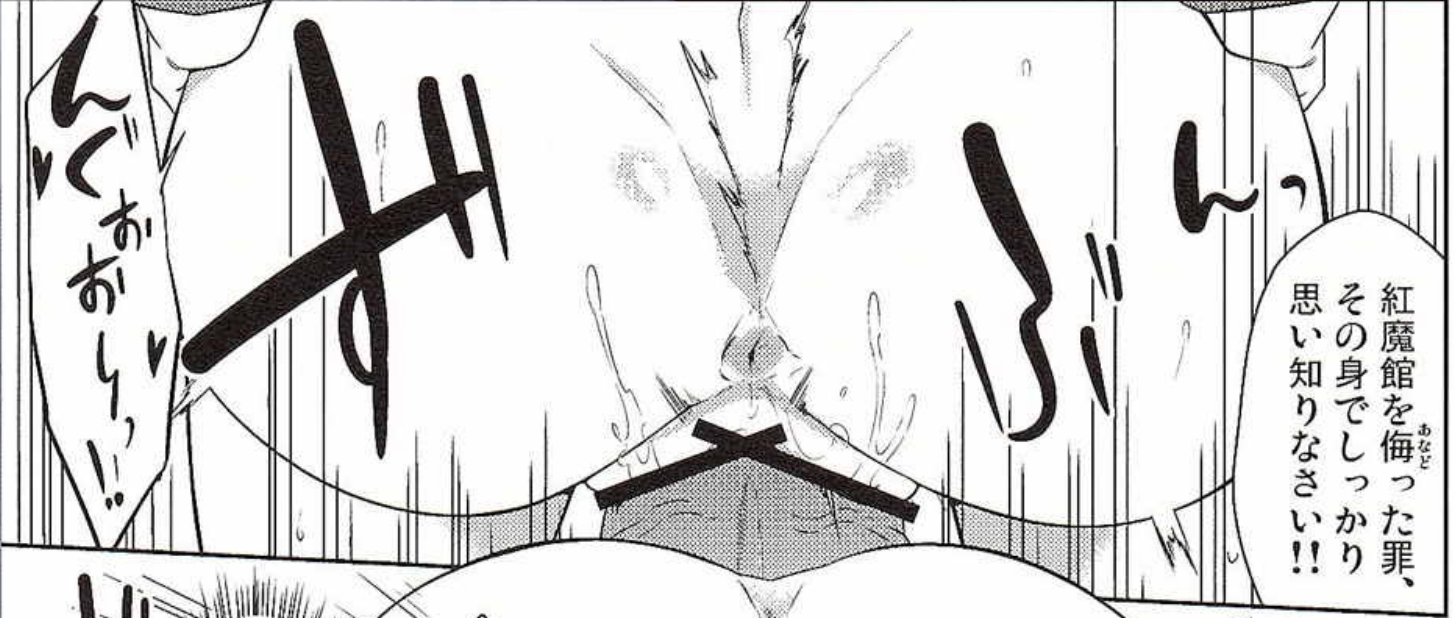


はい、  
かしこまりました

え？  
ちょっと…  
まさか本当に



紅魔館を侮あなどった罪  
その身でしっかり  
思い知りなさい!!



ダメえっ…!  
露出のせいで身体  
火照ってるから…!

フランの  
目の前なのに…っ!!

気持ち良いの  
抑えられないっ!!











そういう事  
じゃなく

責任持ってお嬢様を  
最期まで気持ちよくして  
差上げますから!!



やっ!?

さっきイッた  
ばかりだから

そんなに激しく  
しちゃ駄目え...!!

えっ!?  
ちよ...っ待っ



んっ

しゅっ

ちゅっ

ぶっ

イキますっ!!  
愛してますよ  
お嬢様っ!!

わ...  
わたしもお...!

あうっ

ぎゅらら...  
ト...

つふう...  
ではこのままお部屋へ  
戻りましょうかお嬢様?

う...!

ト...

ひいっ  
ひゅーひゅー  
いつりゅっ!

くうっ、  
奥で搾り取られる...っ!



ところで随分従順に  
なりましたねお嬢様

その…好きな相手に  
意地悪したくなる  
気持ちにはわからなくも  
ないっていうか…

え…？

な、  
なんでもない!!

# —服従×露出×下京上—

発行日：2015/05/10

原作：上湯アリス幻樂團 様

印刷：トム出版 様

発行者：是乃(せのさいと)

blog: <http://zenoside.blog32.fc2.com/>

pixiv: <http://www.pixiv.net/member.php?id=25527>

mail: [greev-jeno-cider@piano.ocn.ne.jp](mailto:greev-jeno-cider@piano.ocn.ne.jp)



ぜのさいど